

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業 第1松風園		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月1日		～ 2025年12月 1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員全員が心理士でアセスメントに基づいた、方針、具体的な支援を、施設、保護者に提案できる。	・支援計画作成前の行動観察をアセスメントの機会として重視し、必ずサービス管理者と担当者2名で訪問し行動観察を行い、チームとしてアセスメントを行いアセスメント結果を職員間で共有している。アセスメント結果を踏まえ、保護者と施設側の希望に沿った、支援計画の作成を、必ずサービス管理者と担当者の2名以上で行っている。必要場合は、支援に生かすために発達検査も行っている。	・支援計画の目標と具体的な対応を施設に対し、より丁寧に説明し、施設側の目標とのすり合わせ、具体的な対応の実施状況を話し合いをさらに丁寧に行う。・訪問時の毎回の施設とのカンファレンスで、その時々で施設が最もアドバイスを必要としていることを確認し、解決策と一緒に探る。施設側の問題解決力をつける。対象児に対して、より専門的な対応が必要な場合、訪問支援員が、児童に対して直接支援も行う。
2	保護者支援 アセスメントに戻つて、将来を見据えて、保護者に児童の特性、必要な支援の方針、具体的な方策を提案できる。	・訪問支援後、必ず面接か電話で保護者に観察してきた状況と施設との話し合いの結果を対象児の特性と合わせて説明、報告している。丁寧な報告書を作成し、保護者、施設と共有している。 ・家庭での近況も確認し、保護者からの相談に応じ、特性から考えられる、実現可能な対応策を提案している。進路や将来に向けての情報も適宜、提供している。	・これまで通り、訪問時の児童の状況を報告し、保護者の対象児の特性への理解を深める。家庭での対応に関する相談は、保護者自身がこれまでどのように対応してきたの、これからどうしたいのかをより丁寧に確認し、支援員が一方的にアドバイスするのではなく、保護者と一緒に対応策を検討し、保護者自身での問題解決を促す。
3	関係機関(相談支援事業所、法人内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所)との連携	・法人内の、相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所を利用しているケースについて、訪問支援の報告書を共有し、対象児の施設での生活、施設での支援について情報を提供する。困難な問題については役割を分担して、対応する。 ・法人外の相談支援事業所にも、訪問の記録を送り、困難な問題については相談し、関係機関の会議の開催など依頼している。	・法人外の相談支援事業所だけでなく、法人外の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所と、保護者の許可をえてから、連携を深めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信	・事業所の取り組みについて発信が必要と思っていない。 ・法人内で行っている保護者向けプログラムの周知が不十分。	・HPの利用 ・保護者への報告時に法人で行っている、「自閉症療育講座」「地域生活支援公開講座」「お父さんの会」の情報の提供を心がける。
2	法人外の児童発達支援事業所、放課後等デイサービスとの連携が弱い	・法人外の児童発達支援事業所、外後等デイサービス事業所との連携を重視していない。 ・事業所連絡会などに参加していないため、法人外の児童発達支援関係の施設を身近に感じない。	・事業所連絡会への参加をこころがけます。 ・必要な場合、保護者の許可を得て、他事業所とも情報の共有や相談を心掛けます。
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援事業 第1松風園

公表日 2026年1月30日

利用児童数 31人 2025年12月1日 回収数 22

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	11	4		7		・訪問時に教具教材が必要な場合は、支援員がケースに応じて手作りすることがおおいです。報告時に、使用した教具教材を保護者にお見せするようにします。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	21	1			・途中で人が入ってくるが多い。外の声が聞こえてこわい	・使用中であることを扉の外に明示し、途中で人が入ってこないよう配慮します。面接時間を自との出入りに少ない時間に設定するなど、面接室外の音に配慮します。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20	2			・わかりやすかったです。	・今後も、インテークや契約の機会に事業目的を分かりやすく説明していきます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	21	1			・迅速目、訪問頻度もわざわざ増やしてご対応下さいました。	・今後も、相談の上、訪問日程を決めていきます。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	15	5		2	・子供のために動いてくださいました。 ・よく認識できていないので、どちらともいえない。	・これまで、全体の職員体制について、積極的に説明する機会を作らなかったのので、契約時などに保護者に説明していきます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	1		・色々とご尽力下さいました。	・これまで同様、全員が心理士である利点を生かして、事前の行動観察や必要に応じたhじやつ検査の実施など、アセスメントを大切に、こどもの特性の理解とそれに合わせた支援の提案を心掛けていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	1		・読みやすく、きちんと口答で教えて、説明下さいました。 ・こどもの特性の見極めが人により判断が異なる為難しさを感じる。どこからが福祉で営利目的なのか分からない	・これまで同様、支援計画作成会議は、必ず複数の職員で行い、保護者と施設側のニーズを踏まえ、個別の特性と環境を加味して支援計画を作成していきます。保護者への説明も大切にしています。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18	1	1	2	・本来目的は常に疑問がある	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2		3		・今後、契約時に、保育所等訪問支援のガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」と支援内容の関係について、説明していきます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2	1	1	・はい。きちんと丁寧にして下さいました。	・これまで同様、支援計画に沿って支援を行います。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18	1		3	・学校側からも評ばん頂いています。	・これまで同様、訪問先施設に合わせた支援を低きおうすることを心掛けます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1		1		・これまで同様、契約時に運営規定や利用者負担について説明をいたします。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					・これまで同様、「保育所等訪問支援計画」支援しながら、訪問の報告をさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	12	3		7		・法人が地域支援として「自閉症療育座」や地域生活公開講座、案内を随時しています。

保護者への説明等	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	2	1	▼15～17 子どもの困りごとを理解し、適切に言語化して下さるので、保護者としても大変わかりやすく、他者への説明がしやすくなりました。子育てにおいてありがたい見当違いのアドバイスをされたことが一度もなく、常に「理解してもらっている」という安心感がありました。とても心強かったです。本当にありがとうございました。	・訪問時の報告面s熱時には、家庭での対応の難しさなどについても話し合い、発達特性、発達課題、対応策を共有することを大切にしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	1	・はい。今、大変良くなりました。感謝しています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	1	1	・保護者の目線で、一つ一つ支援内容頂きました。	・発達障害児の子育てをして保護者へのねぎらいと尊敬を常に大切にしています。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		1	・本当にありがとうございました。	・常に相談できることをさらに周知していきます。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1		2		・児童に対しては、特性に合わせた視覚支援を使用したり、保護者とも必要な書き添えなど
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	2		1		・これまで同様、訪問先からの相談と助言に関しても、保護者にも報告していきます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19	2		1		・毎回のカンファレンスの内容についても、これまで同様、保護者に報告します。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	20	1		1	・保育園でどんな困りごとが生じているのかを把握することができました。また、その上で園がどのように対応してくださっているのか、家庭でどう対処していけば良いのかも明確になり、安心して通えるようになりました。	・実際の施設での生活と支援内容を保護者に知っていただくことを通して児童の特性を知っていただけるように、これまで同様写真などを使い具体的に報告していきます
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3		10	・ホームページを見るのがほとんどない	・今後自己評価の結果などホームページなどで発信していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			2		・これまで同様、個人の情報の取り扱いには、十分注意いたします。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12	4		6		・緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにし、保護者にもそのことを周知します。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2		5		・緊急時、訪問先の意向に沿って安全を確保し支援を行うことを、保護者に周知します。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18	1	1	2	・子供も心を開いてたくさん話ができました。 ・最初はいつもはいい大人が教室にいることを嫌がっていたときもありましたが、慣れてきて名前などを憶えて会話することでだいぶよくなりました。	・児童のと特性に合わせ、訪問時の対応など、児童の負担にならないように配慮して訪問支援を行います。
	28	事業所の支援に満足していますか。	19	2		1	・本当に依頼してよかったです。 ・心理さんから頂いたアドバイスを先生が実践することで支援級全体にとっていいことがたくさんあり、支援を受けて本当に良かったと思いました。 ・卒園まで見て欲しかった。	・これまで同様、満足していただけるよう、施設をエンパワーしながら訪問支援を利用してよかったと思っただけのように努めています。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年1月30日

保育所等訪問支援事業 第1松風園

利用児童数

31人 17施設

2025年12月1日

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の個性や特性にそったわかりやすい内容です。取り入れることが難しい時は、様々な支援方法を考えてくださいます。</li> <li>分かりやすく、すぐに担任間（他のクラスの職員）とも共有し適した関わりを実施することが出来ました。</li> <li>園で取り入れるには、なかなか難しいことはあります。</li> <li>保育園の場面で取り組みやすいようなアドバイスをいただいたので実践しやすかった。</li> <li>園児の発達状況を踏まえた助言をいただき大変満足している。</li> <li>現場の実情に沿った表現で伝えてくださり、必要な点を丁寧に捕捉して下さるため実務に取り入れやすいです。</li> <li>具体的に感じるができない時もあるまたはうまくいかない時もある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからも、今まで同様、訪問支援員が心理士であるという強みを生かして、アセスメントによる見立てを、施設とも共有し、発達特性、発達状況に合わせた、具体的な対応を提案していきます。施設側の対応力も考慮し、施設側が意欲的に取り組みやすい方策を提案できるように心掛けます。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家の話・アドバイスを聞くことがとても勉強になります。</li> <li>言葉の説明だけでなく、視覚的指示をすることでより理解しやすかったり、楽器あそびなど、やり方が分かっていると最初から楽しめるといった知識がとても参考になりました。</li> <li>保護者との関わり方についても相談することができた。</li> <li>園児がどんな声かけや対応だと混乱せず対応できるかなど具体的に教えていただけている。</li> <li>園とは違う捉え方に気付かされる場面や思いつかなかった方法を示していただき専門性の高さを感じています。</li> <li>保育に困り行きづまる時には相談できてほっとする時間である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後さらに、相手方の施設の状況に応じた方策を提案、支援できるよう、知識、技術を身につけられるよう研鑽を積んでいきます。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>相談や質問に対し適切で丁寧な回答をいただいています。</li> <li>困りごとなどをお伝えすると、すぐに適した関わり方をアドバイスをしていただいたり、保護者が行ってきたことに対して、丁寧に成果が出ているとお話して下さりとても嬉しくなりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もこれまで同様、質問には丁寧に対応していきます。また、施設側ができる、やりたくなる対応を提案できるよう、心がけます。</li> </ul>

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのアドバイスにより、子どもに合った対応をすることで、困りごとの軽減、子どもの成長につながっていると思います。</li> <li>・言葉が沢山できるようになり、自分の思いを伝えることの楽しさに気付いたり、園生活を笑顔で過ごせるようになったのは支援が始まってすぐだったように感じます。ありがとうございました。</li> <li>・何となく感じていたものを相談することが解決できたり、課題として取り組むことができた。</li> <li>・まだ数回だがアドバイスを実践歯科大の解消につながったことがあり成長がみられた。</li> <li>・保護者の方とも連絡をとっていただいているので、円滑な連携ができています。</li> <li>・保育がしやすくなり、保護者の理解も得られました。</li> <li>・そう思う時と行き詰まりを感じる時がある。</li> </ul>	<p>これまで同様、対応策を提案する際に、実施できそうかを確認し、実施しやすい方法を提案する。後日、提案したことを施設が実際に実施できた確認し、実施しにくい場合、より実施しやすく、実施しなくなる方法を提案しなおすことをしていきます。また、児童への支援だけでなく、保護者支援にも力を入れて、保護者の信頼関係を促進することに努めます</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス内だけでなく、園全体でも共有し、子どもへの対応に活かしています。</li> <li>・とても満足しています。</li> <li>・はじめての機会でしたが、とてもよかったです。</li> <li>・今後お願いしたいです。</li> <li>・迷っていた部分が整理され、取り組みを一步進めることができました。</li> <li>・保育所訪問でなければ難しいと思っています。</li> </ul>	<p>・これまで同様、施設の良き相談相手になれるよう努めます。</p>
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>				<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が増えた、行事に参加できた、水あそびができた、一つ一つの成長を一緒に喜んでいただけて、嬉しかったです。保護者への伝え方などもアドバイスいただきありがとうございました。教えていただいた知識・技術を活かし、引き続き、自信をもって生活出来る力を伸ばしていけるよう丁寧に関わっていきたくと思います。</li> <li>・質問に対していくつかのパターンでのアドバイスをいただきとても勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・子どもたちへのあたたかいまなざし、職員への的確なアドバイスに、いつも感謝いたしております。ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。</li> <li>・訪問支援員の方々については、担当児童についての専門的な知見からご指導・ご助言をいただきましてありがとうございます。ご指導頂いた内容を教職員たちが今後の指導に生かしていくことで子どもたちの成長につながっていくと思います。今後ともよろしくお願いいたします。</li> <li>・いつもありがとうございます。園の内情を理解していただき、的確な返答をこれからもよろしくお願いいたします。</li> <li>・訪問支援について具体的に知らないこともありましたが、課題だけでなく子どもへの関わり方、保護者対応について今までの取り組みをみとめてもらうことで職員も今後自信をもって保育していくことが出来ると感じました。今回対象となったお子さまだけでなく、今後支援が必要なお子さまの保育に今回の訪問支援での評価を活かしていきたいです。</li> <li>・いつもご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もこれまで同様、職員が心理士であるという専門性を活かして、アセスメントの視点を生かして、保護者に園での状況や支援を具体的に伝えることで、特性を理解していただき、施設にも保護者の考えをお伝えし、保護者と施設が協同して子育てができるようになることを目指します。</li> <li>・保護者の希望、状況に応じて、家庭での困りごとなどの相談にも応じ、家庭生活がスムーズにいき、保護者が子育ての自信を持てることを支援します。必要に応じて、関係機関（相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど）とも連携していきます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業 第1松風園			公表日	2026年1月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		・対象児の特性に合わせて教材を作成することもある ・必要に応じてケースに合わせてものを用意している	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・半年ごとのサイクルで評価を行い、必ず2名以上の職員で計画の作成をしている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・今後検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・様々な研修を受けられるようサポートしてくれる	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		・複数の心理師が話し合い検討することができている	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・必ず支援管理責任者と担当で、十分に話し合い作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		・訪問時にカンファレンスの時間を設け、意向を確認している	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・必要に応じて発達検査、2人で行動を行い、アセスメントを行っている	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・月1回の会議で事後報告している ・担当者とサービス管理者間で随時報告検討している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・担当者とサービス管理者間で随時報告検討している	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		・訪問先の負担になりにくいように支援方法を考えている ・訪問先の方針考えを行動観察会議でうかがい、方針の整合をはかっている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・毎回報告書を作成している ・報告書を毎回作成することで振り返ることもできる		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			・必要なケースにケース会議を行ったり、進路先に訪問し引継ぎを行っている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2		・今後検討していきたい
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1		・センターとして参加している
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			・法人として行っている自閉症療育講座、地域生活公開講座、お父さんの勉強会等を紹介している。必要に応じて面接の中でペアレントトレーニングの要素を取り入れている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		・業務体制的に必要かどうかも含め、検討したい
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		・訪問先、保護者に対して個別での対応のため必要性を吟味し検討していきます
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			・必ず何らかの形で行っている
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			・必ず、報告書と合わせて面接、あるいは電話などの方法で行っている。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		・安全計画のアップデートと周知に努めます
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2		・支援内容に、身体拘束が必要なことが出てきた場合に行っていきます。